

## 報告書抄録

ふりがな	じゅうりいせき							
書名	十里遺跡							
副書名								
巻次								
シリーズ名	主要地方道草津守山線（十里）緊急地方道路整備事業に伴う発掘調査報告書 2							
シリーズ番号								
編著者名	北原 治・金松 誠・田中咲子							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732番2号				
発行年月日	平成22年（2010年）3月							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
じゅうりいせき 十里遺跡	りっとうし 栗東市 じゅうり 十里	208	15	35度02分 50秒	135度57分 56秒	20040426 } 20070326	13,221㎡	主要地方 道路改築 事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
十里遺跡	集落	縄文時代	落ち込み	縄文土器・石器				
	墓	弥生時代中期	方形周溝墓					
	集落	弥生時代後期 ～古墳時代前期	周溝付建物・掘建 柱建物・井戸・土 坑・河川	弥生土器・土師器・ 石器・木器・破鏡・ 带状銅釧・銅鏃・ 管玉・ガラス小玉・ 土製支脚	後漢鏡を使った破 鏡や带状銅釧を再 加工した鍔飾が出 土した。 井戸枠を持つ弥生 時代後期の井戸を 検出した。 周溝付建物をもつ 集落を確認した。			
要 約	今回の調査では、十里遺跡の縄文時代～古墳時代前期の遺構・遺物を確認することができた。特にその大半を占める弥生時代後期～古墳時代前期の遺構・遺物は、住居とみられる周溝付建物や掘建柱建物を中心に井戸や土坑、集落内の河川など集落中心域を示すものであった。							